学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の歴史への見方・考え方を多面的に深めるため、そこに生きた人々の楽しみ・喜び・幸せ、そして悲しみ・怒りを思い浮かべ、これから生きていく国際社会に挑戦する気概を抱いて、主体的・対話的に深い学びになるようにしっかりと学習して下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開などに関わる諸事象を、地理的条件や日本の歴史を関連づけながら、理解した上で知識として定着するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って多面的・多角的に考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を身につけることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての素質・能力を身につけることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開などに関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章文明の成立と古代文明の特質	1　文明の誕生 2　古代オリエント文明 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明	a:古代文明の成立と発展に関する地理的条件や歴史的背景、歴史的特質などを理解し、諸資料から情報を読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c:古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなど見いだして、見通しを持って、学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	第2章中央ユーラシアと東アジア世界	1　中央ユーラシア―草原とオアシス世界 2　秦・漢帝国 3　中国の動乱と変容 4　東アジア文化圏の形成	a:中央アジアの厳しい自然環境に適応した文化・文明や中国の統一国家の形成や支配体制の変化、中国を中心とした国際関係を理解している。 b:中央アジアの人々の動向が世界に与えた影響や中国の統一国家の形成や支配体制の変化、中国を中心とした国際関係などを多面的・多角的に考察し表現している。 c:　中央アジアの厳しい自然環境に適応した文化・文明や中国の統一国家の形成や支配体制の変化、中国を中心とした国際関係について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	第3章	1　仏教の成立と南アジアの統一国家	a:南アジアで生まれたいろいろな宗教が南アジアの社会と周辺諸地域に与えた影響やイ	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	南アジア世界と東南アジア世界の展開	2　インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3　東南アジア世界の形成と展開	ンド古典文化の展開、東南アジアの大陸部と諸島部の国家形成を理解している。 b:資料をもとにインド洋交易の広がりや南アジアの宗教の背景、東南アジアの自然環境を踏まえ、南アジアと中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジアで生まれたいろいろな宗教が南アジアの社会と周辺諸地域に与えた影響やインド古典文化の展開、東南アジアの大陸部と諸島部の国家形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って取り組もうとしている。			
2学期	第4章西アジアと地中海周辺の国家形成	1　イラン諸国家の興亡とイラン文明 2　ギリシア人の都市国家 3　ローマと地中海支配 4　キリスト教の成立と発展	a:イラン諸国家の興亡やアテネ民主政の出現とギリシア文化、都市国家ローマから帝国への変貌、キリスト教の発展と政治的利用を理解している。 b:イラン文明が世界の諸地域に与えた影響やギリシア人の社会の特徴、ローマの地中海世界と統一と帝政ローマとしての繁栄、キリスト教が発展した理由を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イラン諸国家の興亡やアテネ民主政の出現とギリシア文化、都市国家ローマから帝国への変貌、キリスト教の発展と政治的利用について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	第5章イ	1　アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2　ヨーロッパ世	a:イスラーム教の成立と勢力拡大や東西ヨーロッパ世界の形成を理解した上で、13 世紀において諸地域でおこなわれて	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	スラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	界の形成	いた交易の特徴を資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 b:イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴、13 世紀の諸地域の交流や再編を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム教の成立と勢力拡大や東西ヨーロッパ世界の形成、13 世紀における諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
	第６章イスラーム教の伝播と西アジアの動向	１　イスラームの諸地域への伝播 ２　西アジアの動向	a:イスラーム教が伝播した地域とその地域で誕生した政治経済、文化的要素に関する基本的な知識を身につけている。 b:なぜイスラーム教がその地域で伝播したかを、伝播前のその地域の特徴を踏まえた上で考察することができる。 c: この単元で扱うイスラーム教が伝播した地域の現状や課題に関する学習に主体性をもって取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
３学期	第７章ヨー	１　西ヨーロッパの封建社会とその展開 ２　東ヨーロッパ世界の展開	a:封建制と荘園制に関する基本的な知識をもとに、この２つが崩壊・変容することになった要因を理解する。 b:封建社会変容の要因をヨー	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	ロッパ世界の変容と展開	３　西ヨーロッパ世界の変容 ４　西ヨーロッパの中世文化	ロッパ各国・各地域の歴史事象と結びつける。 c:ヨーロッパ各国・各地域の歴史的発展と、地域間相互の影響を考察し、次に訪れる歴史的変化を考察する。			
	第８章東アジア世界の展開とモンゴル帝国	１　アジア諸地域の自立化と宋 ２　モンゴルの大帝国	a：10 世紀以降のアジア諸地域に関する国家・民族の興亡などを理解する。 b：唐王朝弱体化以後のアジアの歴史を、遊牧騎馬民族との関係性にもとづいて考察・理解する・またモンゴル帝国のユーラシア大陸統治が世界に与えた政治的・経済的・文化的影響を考察・理解する。 ｃ：遊牧騎馬民族による支配領域の拡大の目的や、その結果起きた王朝の変遷や国家間・地域間のパワーバランスの変化などを考察する。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度